



シルバー ごしき

第3号
発行日
2008年3月1日
発行所
伊予市灘町363番地
社団法人
伊予市シルバー人材センター
電話089(946)7377
FAX089(982)0035

事業の活性化を目指して

理事長 稲田 甫

スピーカー事務所へ開設以来、2年目、シルバー発足以来、10年目の節目の年に、念願の法人化が実現し、企業としては大きい発展をみた。しかしながら昨今の経済不調から、業績は楽観できないところである。そこで新年度を境として、三つの目標をたて、推進してみたいと考えている。

1. 会員募集と、就業開拓をすすめる。「広報紙 マスメディア」による

親切丁寧は女性会員の特典である。生き生きと自信をもち、作業に誇りを持っている、会員の募集と、介護支援等、新しい就業をはかる。

2. 班別にローテーションを組み、特長を生かした、ユニークな就業で能率を高め、会員自らの連絡による、就業体制を作り、就業率100パーセントを目標とする。

3. 健全な事業運営に向かって、公共や民間企業からの就業開拓をして、シルバー事業の拡大を図る。

むすび

団塊の時代と言われる今日、企業の定年延長、会員の高齢化に伴い、厳しい運営状況に責められている。この危機を乗り切るために、心機一転、新製品の開発等、会員事務所一丸となって、仕事の能率の向上と、迅速な対応に努力する必要がある。

以上、私の心情をのべ、皆さんの、一層の努力を願い、ご多幸を、ご祈念いたします。



平成19年度安全就業推進大会 経験交流大会開催される



平成20年2月22日(金)松山市の南海放送本町会館1階テルスタールホールに於て、県下17のセンターより300名あまりの参加のもと盛大に開催された。

午前中安全就業推進大会、午後からは経験交流大会又、各センター会員さんの趣向を凝らした作品展各センター自慢の物流販売、刃物研の実演等さまざまな催し物があり盛会の内に終了した。

当センターからは、理事長以下20名が参加。午前中の安全就業スローガン表彰に於ては、両村貞秋、奥田章両会員の入選があり表彰を受けた。

又、経験交流大会事例発表では当センターから宮内剪定班長が発表「剪定作業に従事して」という題目で入会してから今日迄6年間の歩みについて体験を交えての発表があった。

記念講演では、北条出身の脚本家又小説家でもある早坂暁先生「夢のある豊齢者」という題目での記念講演があった。皆さん方は苛酷な時代を生き抜いた戦士であり日本の基礎を造ってきた人達である。美德や知恵を兼ねそなえた豊齢者は後世にきちんと伝える義務がある等、取材や体験を基に多方面に渡っての話しがあり心に残る講演であった。

人の出会いはさまざまである。大会を通じて何か得る物がそれぞれにあり有意義な一日であった。

経験交流大会事例発表

「剪定作業に従事して」…………… 宮内 和男

皆様今日は、伊予市シルバーセンターの宮内和男と申します。

私がシルバー人材センターに入会いたしましたのは、平成14年の秋、6年前になります。定年退職を機に好きな剪定班に入会させて頂きました。

入会して思いました事は、今まで自宅の庭で30年近く自己流で剪定しておりましたが、先輩達の技術には到底及ばない事を痛感いたしました。こ

れでは駄目だと思いNHKの日本園芸協会造園技能士の本・ビデオを取り寄せ毎日勉強をしました。

木の種類は数多く、花物、葉物、実物、その他の木、植物の名前を覚えるのも大変苦勞をし、何度か、県緑化センターへ実物の木を見に行きました。

又、木につく病虫害や防除の仕方とか、袖垣、四ツ目垣の作成、庭石のすえ方、木の植え方、配置、あらゆる事を勉強いたしました。

実技では、特に松は奥が深く、赤松、黒松でも剪定の仕方がちがいで葉の短い物、長い物、葉の多い松、少ない松、枝の広いの、握りこぶしの様に小さい枝と枝ぶりが一本、一本、人間の顔が違う様に剪定の仕方も多種多様であるように現在でも毎日苦勞をしています。

5年前全日本園芸技能士と愛媛県技能検定士の資格を取る事ができました。

まだ、これからも剪定技術の向上を目指し、庭木の手入れは常に「初心」に戻る研究的態度が必要と、毎日が勉強の場を与えられたと思い努力をいたしているところです。

又、昨年より剪定班の班長を受けておりますが、私は3つの事を大切に思いながら会員に周知徹底をしながら仕事をしております。



第1は、チームワークであります。私も大切にしたいと考えております。10時の休憩、昼休、3時の休憩の時には、庭木の話はもちろんしますが、政治経済、株式、農業の話しから始まり、3面記事スポーツの話、又、子供孫の話しや若かりし頃の自慢話しまでとび出し、毎日笑いの耐えない日々です。働く仲間達との和を大切にしたいと考えております。



第2は、安全作業であります。



作業しやすい服装・安全帽、安全ベルト、地下たびか、安全靴の着用を徹底し高い所での木の伐採や剪定、バリカン、ハサミなどの使用にも充分注意しながらケガをしないようにと毎日心がけ、今日一日を安全で事故もなく終える事を願っております。

第3に、剪定に伴う清掃であります。

時間をかけ、ていねいな剪定と同時に後の掃除をきれいにする。シルバーだからこれ位でいいだろうと思わず手を抜かず、さすがシルバーさんの仕事には感心されると言われるように、先方さんの身になって毎日頑張っていきたいと思えます。一日の仕事

を終え書類にサインをいただきに行きますが、その時お客様に剪定して明るくなったとか、きれいにしてもらってありがとうございますと心も晴れよかったと思ひ又、明日も頑張ろうと意欲もわいてきます。

以上3つの事を大事に仕事を進めて行きたいと考えております。

いつまで体が続くかわかりませんが、仲間と笑い合いながら楽しく過ごして行けたら幸いと思ひやみません。

これからも関係者の皆様ご指導をよろしくお願いし私のつたない発表を終わります。ご静聴ありがとうございました。



平成19年度安全就業スローガン表彰作品(抜粋)

最優秀作品

「慣れた作業に油断あり

初心に帰ってシルバー就業」

松前町シルバー人材センター 会員 松本 敏明 様

佳 作

「急がず焦らずシルバー作業心のゆとりで今日も安全」

(社)伊予市シルバー人材センター 会員 奥田 章

「シルバーの経験とゆとりでつなぐ無事故の輪」

(社)伊予市シルバー人材センター 会員 両村 貞秋



スローガン表彰

平成19年度活動・あれこれ

「シルバーの日」活動状況

10月20日 88名参加

JR駅前・伊予港周辺の除草・清掃・剪定作業

参加された皆さんご苦労様でした。

平成20年度もよろしく。



平成19年度シニアワークプログラム事業

12月6日開催の会計アシスタント講習会を皮切りに、介護スタッフ短期講習会・オフィスクリーニング講習会・造園アシスタント講習会と60歳代前半層を中心に一般より公募85名が受講し技能の向上が図られた。



造園アシスタント (真剣な眼差しの受講生)

安全就業の心得…みんなで守ろう10カ条

保護帽未着用の重大事故増加……剪定・除草作業転落等
就業途上事故増加……交通事故等注意しましょう。

- 1** 作業は安全第一を心がけ、急いだり、あわてたりしないこと。



- 2** 器具類は使用前に必ず点検すること。

少しゆるんでいるな



- 3** 服装・履物は作業に合った動きやすいものにする。ヘルメット、命綱など作業によっては必ず着用すること。

- 5** 加齢による、諸機能の低下を十分認識し、無理をしないこと。

無理をしたらだめですよ。



- 4** 作業前には軽い柔軟体操をして体をほぐすこと。

- 6** 作業現場は常に整理整頓を心がけること。



- 7** 共同作業では、合図・連絡を正確に行うこと。

- 8** 帰宅するまでは仕事のうち、酒気を帯びての就業は絶対にしないこと。交通事故に気をつけること。

- 9** 健康には常に注意し、健康な状態で就業すること。

- 10** 仕事の前日は、十分睡眠をとるように心がけること。

編集後記

法人化1年目が終わろうとしている。法人化後当センターの運営状況は従来のみである。急速な改革より優先順位の高い物から順次体制を整えていきたい。理事長表明の3つの目標に向け職員一丸となり進んでいきたい。今後ともよろしく申し上げます。